

とちぎ夢大地応援団活動報告（10月17日実施）

那須烏山市国見地区

日本の棚田百選に認定されている那須烏山市国見地区のとちぎ夢大地応援団活動が10月17日、夢大地応援団員や宇都宮大学生、地元自治会員など80名が参加して開かれ、棚田周辺の草刈りを行いました。

応援団の内訳はボランティア団体・ナルク栃木の会員8名や宇都宮大学農業経済学科の学生約40名、栃木県農政部職員7名などです。参加者は、開会式で大谷範夫那須烏山市長から「大勢の応援をいただきありがたい。みんなで国見の棚田、ミカン園を守っていききたい」と歓迎のあいさつを受けたあと、約2時間にわたり棚田周辺の急傾斜地の草刈りなどに汗を流しました。

草刈り終了後は、地元の女性たちがつくったすいとん汁や特産のミカンが参加者にふるまわれました。その後、みんなで記念撮影をして解散しました。



ミカン園を背に参加者全員で記念撮影をしました



大谷那須烏山市長（左端）の歓迎のあいさつを受ける応援団員ら



棚田周辺の急傾斜地での大変な作業です



途中から参加の宇大生は傾斜の緩い所で草刈り



会場には電気草刈機のデモコーナー



約 2 時間の作業ですっかりきれいに刈り払われた棚田周辺



昼食会場は超満員



地元の女性たちが作ったすいとん汁



国見のミカンは食べ放題